

## MMS 研究会 2003 年度第 1 回幹事会議事録

日時：2003 年 6 月 13 日（金）11 時 30 分から

場所：ホテルーノ宮シーサイドオーツカ

出席者：中嶋、大山、鈴木、若田、森田、兵庫、田中、宇野、松元、浜田、浅野  
（欠席：矢嶋、林、山影、本間）（順不同，敬称略）

### 議題 1：幹事選挙報告（鈴木選挙管理委員より）

新幹事には以下の会員が選出された旨、報告された。

中嶋、大山、若田、森田、兵庫、田中、宇野、松元、浜田、浅野、矢嶋、林、山影、本間  
（順不同，敬称略）

### 議題 2：会長の選出および庶務幹事、会計幹事の指名

出席幹事全員の賛成により浅野庶務幹事を新会長に選出した。

会則に則り、会長が会計幹事には中嶋幹事を、庶務幹事には山影幹事を指名し、快諾を得られた。（山影新庶務幹事は欠席であったので、6 月 16 日にお願ひし、快諾が得られた。）  
また、Web Master には引き続き、兵庫幹事にお願ひした。

### 議題 3：次回定例会（第 44 回、津市での開催）のプログラム

会長から、今年で初代会長土川清先生の 13 回忌を迎えるに当たり、土川基金受贈者全員による研究報告会を開催したい旨の提案があった。

幹事全員が賛成し、第 44 回定例会は土川基金研究発表会を実施する方向で定例会終了後の拡大幹事会で更に検討することとした。

来年の春の定例会の開催場所の提案がなされたが、本定例会終了後の幹事会で議論することとした。

### 拡大幹事会

日時：2003 年 6 月 14 日（土）12 時 45 分から

場所：ホテルーノ宮シーサイドオーツカ

出席者：矢嶋、林、中嶋、大山、齋藤、若田、森田、田中、宇野、松元、浜田、馬場、  
一ツ町、浅野

（欠席：兵庫、山影、本間）（順不同，敬称略）

### 議題 1：会長指名幹事の件

会長指名幹事として齋藤優子さんに委嘱したことを報告した。

### 議題 2：次回定例会（第 44 回）プログラムおよび次々定例会（第 45 回）開催地

第 44 回定例会は 2003 年 11 月 26 日（水）JEMS 初日午後 6 時から約 2 時間を予定

内容：初代会長土川清先生の功績に対し JEMS から感謝状が贈呈されるが、今年で土川先生の 13 回忌を迎えるにあたり、MMS 研究会としても土川先生のメモリアルイベントを企画することが会長から再度提案された。会員のうち延べ 20 名以上が土川基金を受けて、研究成果を出している現状を踏まえ、受贈者全員による研究報告会を開催することを決定した。  
受賞者へは会長から連絡し、参加を依頼する。

## 第 45 回定例会の開催地

事務局提案として、島根県庁コンベンションセンター、および富山県庁コンベンションセンターからの定例会誘致の話が紹介された。

出雲市、もしくは松江市で開催した場合、50 名以上の参加者で延べ 80 宿泊程度で 15 万円の補助、さらに島根県からの補助金が出される。

富山県の場合はそれより少ないが補助金が交付される補助金のうまみから出雲市での開催を提案した。

しかし、来年の JEMS は長崎で開催され、春の山陰への出張は経費がかかりすぎる懸念があり、参加者が少なくなりそうで、好ましくはないのではという意見が多く出された。

代替地として田中幹事から湘南国際村（三浦半島、逗子市近く）での開催案が出され、経費について調査することになった。もし、湘南国際村での開催が可能であれば、山影庶務幹事が世話人になり開催することとする。

（後日、大山幹事からヤクルトの伊東研修所も使用可能である旨の連絡があり、候補地として検討する。）

## 議題 3：共同研究の会計

ヒト細胞の共同研究について、会計幹事から現状の報告があった。

19 の参加機関から合計 95 万円（参加費：5 万円、内未収金 15 万円）を参加費として集金したが、すでにヒト S9 購入費用として 958,650 円を使っている。さらにヒト S9 の追加購入が予想されるが、現時点ですでに赤字になっているので、この問題の取扱を検討した。

1) 本間世話人代表が米国長期出張中であるが、今後の予定を早急に明確にしてもらう

2) 本共同研究には本会計から論文作成費用として 30 万円まで補助する。（MMS 研究会の共同研究であるので、必要な費用は補助するが、無制限に会計から補助する訳にはいかないのので、不足分についてはヒト細胞共同研究グループ内で処理してもらう。）

1) および 2) を世話人へ伝え、対応をお願いする。

以上  
文責 浅野